

令和2年2月20日

一般社団法人日本電機工業会
新エネルギー部

JIS C 8918及びJIS C 8939で参照している規格の 読み替えについて

JIS C 8918（結晶系太陽電池モジュール）及びJIS C 8939（薄膜太陽電池モジュール）は、製品に対する性能・構造・表示及びそれらを確認するための試験を規定しています。これらの規定事項のうち、一部のものは他の規格を参照して内容を規定しているため、参照先の規格に大きな変更があった場合などに、規定している内容を追うことが困難になる場合があります。

今回、2020年2月20日に関連するJISが改正されたことにより、上記のように内容を追うことが困難になる項目があるため、次頁以降に参照先の対照表を掲載します。ご活用下さい。

次頁以降掲載：

表1 JIS C 8918 参照先対照表

表2 JIS C 8939 参照先対照表

- 改正されたJISについては、別途掲載しております「太陽電池モジュールの性能及び安全性認証に係わるJISの改正及び一部JISの廃止について」をご確認ください。
- 改正前のJISの移行先についての情報は、日本産業標準調査会のHPで「廃止規格検索」を行うことでも確認できます。

表 1 JIS C 8918 参照先対照表

項番	タイトル	原文 (JIS C 8918)	読み替え後
7.1 a) 表3	開放電圧 (V_{OC}) 短絡電流 (I_{SC}) 最大出力 (P_m)	<u>JIS C 8990の10.6 [基準状態 (STC) 及びNOCTにおける特性試験] の基準状態</u> による測定に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.6 [基準状態 (STC) における性能MQT 06]</u> による測定に基づく。
7.1 b) 表4	絶縁抵抗	<u>JIS C 8990の10.3 (絶縁試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.3 (絶縁試験 MQT 03)</u> に基づく。
7.1 b) 表4	耐電圧	<u>JIS C 8990の10.3 (絶縁試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.3 (絶縁試験 MQT 03)</u> に基づく。
7.1 b) 表4	衝撃電圧	<u>JIS C 8992-2の10.5 (インパルス電圧試験MST 14)</u> に基づく。	<u>JIS C 61730-2の10.12 (インパルス電圧試験MST 14)</u> に基づく。
7.2 表5	耐風圧	<u>JIS C 8990の10.16 (機械的荷重試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.16 (機械的静荷重試験 MQT 16)</u> に基づく。
7.2 表5	フロントカバー の衝撃強度	<u>JIS C 8990の10.17 [降ひょう (雹) 試験]</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.17 [降ひょう (雹) 試験 MQT 17]</u> に基づく。
7.2 表5	端子強度	<u>JIS C 8990の10.14 (端子強度試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.14 (端子強度試験 MQT 14)</u> に基づく。
7.3 表6	温度サイクル	<u>JIS C 8990の10.11 (温度サイクル試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.11 (温度サイクル試験 MQT 11)</u> に基づく。
7.3 表6	耐熱・耐湿性	<u>JIS C 8990の10.13 (高温高湿試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.13 (高温高湿試験 MQT 13)</u> に基づく。
7.3 表6	温湿度サイクル	<u>JIS C 8990の10.12 (結露凍結試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.12 (結露凍結試験 MQT 12)</u> に基づく。
7.3 表6	耐光性	<u>JIS C 8990の10.10 (紫外線前処理試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2の4.10 (紫外線前処理試験 MQT 10)</u> に基づく。

項番	タイトル	原文 (JIS C 8918)	読み替え後
7.3 表6	耐塩水性	<u>IEC 61701</u> に基づく。	<u>JIS C 8930</u> に基づく。
8.3 b)		最小絶縁距離は, <u>JIS C 8992-1</u> による。	最小絶縁距離は, <u>JIS C 61730-1</u> による。
9.3 a)		外観 [<u>JIS C 8990</u> の <u>10.1</u> (目視検査) 参照] 及び	外観 [<u>JIS C 61215-2</u> の <u>4.1</u> (目視検査 MQT 01) 参照] 及び
10	表示	表示は, <u>JIS C 8990</u> の簡条4 (表示) 及び <u>JIS C 8992-1</u> の簡条11 (表示) を満足するように行う。	表示は, <u>JIS C 61215-1</u> の <u>5.1</u> (銘板) 及び <u>JIS C 61730-1</u> の <u>5.2.2</u> (表示) を満足するように行う。

表 1 JIS C 8939 参照先対照表

項番	タイトル	原文 (JIS C 8939)	読み替え後改定案
7.1 a) 表3	開放電圧 (V_{oc}) 短絡電流 (I_{sc}) 最大出力 (P_m)	JIS C 8991の10.6 [基準状態 (STC) 及びNOCTにおける特性試験] の基準状態による測定に基づく。	JIS C 61215-2の4.6 [基準状態 (STC) における性能MQT 06] による測定に基づく。
7.1 b) 表4	絶縁抵抗	JIS C 8991の10.3 (絶縁試験) に基づく。	JIS C 61215-2の4.3 (絶縁試験 MQT 03) に基づく。
7.1 b) 表4	耐電圧	JIS C 8991の10.3 (絶縁試験) に基づく。	JIS C 61215-2の4.3 (絶縁試験 MQT 03) に基づく。
7.1 b) 表4	衝撃電圧	JIS C 8992-2の10.5 (インパルス電圧試験 MST 14) に基づく。	JIS C 61730-2の10.12 (インパルス電圧試験 MST 14) に基づく。
7.2 表5	耐風圧	JIS C 8991の10.16 (機械的荷重試験) に基づく。	JIS C 61215-2の4.16 (機械的静荷重試験 MQT 16) に基づく。
7.2 表5	フロントカバー の衝撃強度	JIS C 8991の10.17 [降ひょう (雹) 試験] に基づく。	JIS C 61215-2の4.17 [降ひょう (雹) 試験 MQT 17] に基づく。
7.2 表5	端子強度	JIS C 8991の10.14 (端子強度試験) に基づく。	JIS C 61215-2の4.14 (端子強度試験 MQT 14) に基づく。
7.3 表6	温度サイクル	JIS C 8991の10.11 (温度サイクル試験) に基づく。	JIS C 61215-2の4.11 (温度サイクル試験 MQT 11) に基づく。
7.3 表6	耐熱・耐湿性	JIS C 8991の10.13 (高温高湿試験) に基づく。	JIS C 61215-2の4.13 (高温高湿試験 MQT 13) に基づく。

項番	タイトル	原文 (JIS C 8939)	読み替え後改定案
7.3 表6	温湿度サイクル	<u>JIS C 8991</u> の <u>10.12 (結露凍結試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2</u> の <u>4.12 (結露凍結試験 MQT 12)</u> に基づく。
7.3 表6	耐光性	<u>JIS C 8991</u> の <u>10.10 (紫外線前処理試験)</u> に基づく。	<u>JIS C 61215-2</u> の <u>4.10 (紫外線前処理試験 MQT 10)</u> に基づく。
7.3 表6	耐塩水性	<u>IEC 61701</u> に基づく。	<u>JIS C 8930</u> に基づく。
8.3 b)		最小絶縁距離は、 <u>JIS C 8992-1</u> による。	最小絶縁距離は、 <u>JIS C 61730-1</u> による。
9.3 a)		外観 [<u>JIS C 8991 (目視試験)</u> の <u>10.1</u> 参照] 及び	外観 [<u>JIS C 61215-2</u> の <u>4.1 (目視検査 MQT 01)</u> 参照] 及び
10	表示	表示は、 <u>JIS C 8991</u> の <u>箇条4 (表示)</u> 及び <u>JIS C 8992-1</u> の <u>箇条11 (表示)</u> を満足するように行う。	<u>JIS C 61215-1</u> の <u>5.1 (銘板)</u> 及び <u>JIS C 61730-1</u> の <u>5.2.2 (表示)</u> を満足するように行う。